

2020年「ステンレススチールワールドジャパン」 カンファレンスプログラム

主催: KCI Publishing
2020年2月21日現在

1日目 2020年6月8日	
9:20-9:30	オープニング挨拶 タイス エルスホフ、ケイシーアイ パブリッシング
9:30-10:00	ステンレス鋼の開発 - 過去、現在、そして未来 ステンレス鋼合金は、1912年頃に最初に商品化されて以来、開発が続いています。これには合金開発とプロセス開発の両方が関わっており、現在においても異なった形で行われています。過去と現在の開発や、付加製造や ICME (計算材料工学) などまだ初期段階の技術の検証と今後の見通し。そしてこれらが世界のステンレス鋼産業に及ぼす影響について発表。 発表者: Gary Coates, ニッケル協会、カナダ
10:00-10:30	日本におけるステンレス業界の現状と主な取り組み 発表者: 鶴澤政晴、ステンレス協会
10:30-11:00	日本の国土強靱化対策とステンレス鋼の活用事例(仮) 発表者: 日鉄ステンレス
11:00-11:30	休憩
11:30-12:00	ステンレス鋼における熱処理の質 保持や浸漬に要する時間、熱処理や冷却の温度、及び炉から冷却の所要時間を含む熱処理の質は、各ステンレス鋼のグレードの実際の化学組成と製品の寸法によって異なります。特に、二相鋼、マルテンサイト、析出硬化のグレードは、特別な配慮を必要とします。またこれらのグレードへの溶接も、熱処理の一環であると考えます。 発表者: Raymond Cordewener, R. Cordewener Management & Consultancy BV, オランダ
12:00-12:40	出展会社の紹介 (18社 x 2分)
12:40-14:00	昼食
14:00-14:25	個別課題発表: 溶接 セッション長: 中山元、(株)IHI 日立の原子力発電プラントのステンレス鋼製品における溶接技術 発表者: 多羅沢 湘、日立 GE ニュークリア・エナジー(株)
	14:25-14:50
15:00-15:25	個別課題発表: パフォーマンス セッション長: 長尾護、コベルコ鋼管(株)
	15:25-15:50
15:50-16:20	金属 3D プリンタによる Type316L ステンレス鋼材の製品適用課題 EBM (電子ビーム溶解) 方式金属 3D プリンタによって造形した Type316L ステンレス鋼材の材料特性と、ビーム設定や後加工技術による改善検討例を紹介 発表者: 阪口隼夫, 荏原製作所
	16:20-17:50
18:00-20:00	ネットワーク懇親会

2日目 2020年6月9日	
9:30-10:00	<p>ステンレス鋼の使用限界-局所腐食と応力腐食割れ ステンレス鋼の過酷な使用環境での暴露限界と材料の状態の閾値がレビューされ、議論されます。このプレゼンテーションの目的は、環境暴露評価、残留応力と印加応力の存在、および微細構造工学処理の関係を理解すること。コンポーネントの寿命を延ばす典型的な例と革新的な方法を紹介。 発表者：Dirk Engelberg, マンチェスター大学, 英国</p>
10:00-10:30	<p>ステンレス鋼の孔食初期過程のリアルタイム観察と局部電気化学特性 観察機能付きマイクロ電気化学システムを開発し、NaCl 溶液中で MnS 介在物を起点とする Type 304 の孔食を解析した。ピットは鋼/MnS 境界部から発生すること、鋭敏化材ではピット発生後に粒界腐食が生じることを見出した。 発表者：武藤泉、東北大学</p>
10:30-11:00	休憩
11:00-11:20	<p>国内化学会社からの見解 (仮) 発表者：中原正大、旭化成(株) (仮)</p>
11:20-11:45	<p>個別課題発表：二相鋼 セッション長：Bernd Beckers、オウトクンプ、ドイツ</p>
	<p>Forta FDX 27 -プレート式熱交換器用の成形可能な二相鋼 発表者：Claes Tigerstrand、オウトクンプ(株)、スウェーデン</p>
	<p>(題目と発表者名は後日受け取り) 発表者：日鉄ステンレス</p>
	<p>SAF 2707 HD - 高度な二相鋼冶金 発表者：Vikram Pandit, Sandvik Materials Technology, APAC</p>
12:10-12:35	<p>SAF 2707 HD - 高度な二相鋼冶金 発表者：Vikram Pandit, Sandvik Materials Technology, APAC</p>
12:35-14:00	昼食
14:00-14:25	<p>個別課題発表：耐熱・高温アプリケーション セッション長：</p>
	<p>熱処理用途向けの遠心鑄造耐熱鋳物 発表者：Shankar Venkataraman, Schmidt + Clemens GmbH + Co. KG, ドイツ</p>
	<p>ESRR：高温材料向けの新しいより高速で効率的で信頼性の高いプロセス 発表者：Daniel Cattin, Valbruna、イタリア</p>
14:25-14:50	<p>ESRR：高温材料向けの新しいより高速で効率的で信頼性の高いプロセス 発表者：Daniel Cattin, Valbruna、イタリア</p>
14:50-15:50	<p>ワークショップ：新技術 セッション長：Raymond Cordewener, R. Cordewener Management & Consultancy BV, オランダ パネリスト： - SANICRO 35 -非常に攻撃的な腐食環境向けの新しい Ni-Cr-Mo 合金, Vikram Pandit, Sandvik Materials Technology, インド - UNS34709 と比較して良好な耐鋭敏化特性および高いクリープ強度を持つ UNS.S34752、小薄孝裕、日本製鉄</p>
15:50-16:00	休憩
16:00-17:00	<p>ドクターに質問 司会者：中原正大、旭化成(株)</p> <p>ドクター： - Gary Coates, ニッケル協会、カナダ - Dirk Engelberg, マンチェスター大学, 英国 - 小薄孝裕、日本製鉄 - Claes Tigerstrand, オウトクンプ(株)、スウェーデン</p>
17:00-17:10	閉会挨拶